

大王まちづくり

発行/編集
大王地区まちづくり協議会 広報部
宇陀市榛原下井足
825番地
(農林会館内2F)

健康・福祉部会地域交流講演会報告

「認知症の正しい理解と予防について」終える

健康・福祉部会の本年度計画事業である「認知症の正しい理解と予防について」、6月30日(日)午後1時30分から農林会館で、大王地域等の参加者83人を対象に開催、講師には松寿会代表取締役 芳野正裕さんを迎え家族の認知症予防や認知症者の介護、生活支援等の最新情報をわかりやすく講演していただきました。

高見喬宏会長の開会のあいさつでは、設立5年目を迎えることとなり、大王地区がどのように活性化して行くか模索しながら各部会で頑張っています。

今回の「認知症のセミナー」については、健康福祉部会の矢谷部会長が中心となり開催することができました。私も94歳になる親族の介護をしていて、実際に介護で認知症の症状となる体験を身近に感じています。

続いて矢谷部会長より今回の開催計画時は、参加者の人数も不安になっておりましたが、当日は、大勢の参加者でありホットしています。また、今回は、宇陀チャンネルの収録協力もあり皆さんと共に勉強を進めていきたいと思います。

講師には、多機能型介護ホームうだの里、認知症介護指導者、松寿会代表取締役芳野正裕さんを迎え「認知症の正しい理解と予防について」講演を開催しました。

芳野正裕さんは、大宇陀守道生まれで榛原第一小学校、榛原中学校と20歳まで榛原で過ごされ、今回の参加者の中にも顔見知りの方もおられるとのことでした。

講演の主な内容については、次の通りでした。

●認知症は、怖くない病気であると考えます。ただし、認知症に対する正しい理解が必要である。身近な認知症については、2012年6月発表462万人、2015年1月発表2025年1700万人高齢者の5人に1人がなる推計もあります。(新オレンジプラン)

なぜ、身近に感じる事ができなかったのは、昔は、平均寿命が70歳ぐらいで、認知症に至る人々が少なく身の回りでは感じる事ができなかったことが考えられます。そうしたことから、認知症の人の気持ちの理解や家族の思いが、なかなか分からなかったと思います。

●病気としての認知症は、アルツハイマー型認知症、血管型認知症、レビー小体型認知症(パーキンソン病)、前頭側頭型認知症、他に正常圧水頭症、薬剤性などがあります。

薬としては、認知症の薬、病気の原因を治す薬や抑える薬がありますが、医療でできること、出来ないこともあり完全に治す薬はありません。

●認知症の症状については、中核症状として、もの忘れ、見当識障害、実行機能障害、判断力の低下がすべての認知症の方に出現する。

行動心理症状(BPSD)としては、徘徊、妄想、幻覚(幻視・幻聴)、興奮、暴力、抑うつ状態などがあり、医療や介護で改善できる可能性があります。

中核症状や見当識障害については、記憶障害によって起こると考えられています。中核症状の判断力の低下については、なかなか判断が出来ず、動かない状態が続く、認知症の人は、わからなくなったのではなく、新しいことを忘れてしまうのでどうしていいのか迷っている。困っている状態なのかもしれません。常に考えているのが認知症の人の心かなと考えられます。行動心理症状については、家族や専門職の介護で改善できるので、場合によっては医療と連携する必要があります。

●認知症の治療・診断については、早期発見、早期診断、早期治療(早期対応)が必要で、対応方法で認知症の行動心理症状を軽減することができます。

●家族の思いと本人の思いについては、初期は理解が出来ていないので介護が必要だと認めたくない。重度になってくると施設に入ってくれたら、徘徊されて近所に迷惑をかけたら、自宅なのに「家に帰る。」と言うなど様々な家族の思いがある。

本人の思いとしては、わからない状態であっても自分の「役割」のある場所で過ごしたい思いがある。

●地域の人の思いは、昔は、厄介者としてうろろろされて交通事故とか行方不明になったら困る。施設に入ったら良いとか、本人の思いは考えないようであった。現在では、地域の人は、たくさん施設があるから入れればいいと言うが、本人の思いが優先されて家で過ごす方もいる。

●認知症予防としては、3つのポイント「運動」「笑い」「おしゃべり」があり、日頃から考えて過ごす必要があります。

認知症になりにくい生活とは、糖尿病等の生活習慣病を防ぐことや、食事や運動習慣に気を配った健康的な生活が必要です。

最後に、認知症になってもわからなくなるわけではない。恥ずかしいことではなく誰もがかかる可能性があるが、認知症になっても、まだまだできること、わかることがたくさんあること。



↑ 高見会長挨拶



↑ 芳野正裕さん講演様子

第5回ミニ文化祭 ～わが地域じまん祭～ 11月17日(日)に開催します！！

「見る・聞く・知る・作る・買う・食べる・ふれ合う」をキーワードとして取り組んだ「わが地域じまん祭」を今年も開催します。「大王地区まちづくり協議会」の五つの部会今年もそれぞれが色々と趣向を凝らして地域の皆さんのお越しを待っています。
11月17日(日)午前10時に開会いたします。(詳細は、チラシをご覧ください)

まち協のコンセプト、地域と地域、人と人、心と心をつなぎ、より人に優しい住みやすい地域づくりを目指して事業として、今年も「第5回ミニ文化祭ーわが地域じまん祭ー」を開催します。
「まちづくり」の目指す方向は、いつの間にか忘れつつある「大切なもの」を、私たち自身の力で自分の手元に取り戻すことが大切だと思います。
そのためにも、わが地域に暮らす人達とまずふれ合うことが大切に、令和の年も頑張ります。



文化祭作品を募集しています

<部門及び作品規格>

絵画……日本画・洋画ともに、1辺150cm以内の拡張又は額装にて、版画は、ハガキ版以上で額装での出品してください。

書芸……仕上がり寸法で額装・軸装含め1.6m以内(最大辺タテ240cm・ヨコ180cm)所定の用紙に記入した釈文をつけてください。

写真……仕上がり寸法25cm×30cm以上で、75cm×120cm以内の額装又はパネル張りにて出品してください。

組写真は、上記サイズ内に収めてください。

彫塑・工芸……平面作品は1m×1m以内、立体作品は1m以内とし、重量は25kg以内を目安とします。

作品の申込み受付と搬入日は、11月9日(土)・10日(日)の午前10時から午後4時まで、場所は、農林会館2階の大王まち協事務局室まで。

<幼稚園・小学生の作品>

今年の夏休みに作った絵・ポスター・工作等の作品を出品してください。

申込み受付・搬入日・場所は上記と同じ。

<切り取り線>

大王地区まちづくり協議会「第5回ミニ文化祭」作品展 出品申込書

住所			電話		
氏名			年齢	歳	男・女
部門	絵画・書芸・写真・彫塑工芸・幼少作品(絵・ポスター・工作)				
作品	受付番号	作品の題名	大きさ・重さ		
			たて		cm
1			よこ		cm
			重さ		Kg
2			たて		cm
			よこ		cm
			重さ		Kg
作品裏張り用紙					
作品1		氏名	作品の題名		
作品裏張り用紙					
作品2		氏名	作品の題名		